

DX (デジタルトランス
フォーメーション) の推進
DX

コース番号：119-006

2026年

開催日時：7月23日(木) 募集締切：7月9日(木)
9:30~16:30 (6時間)受講料
3,300円 (税込)

開催場所：ポリテクセンター山梨 (裏図参照)

定員：16名程度 (先着順)

推奨者：管理者層

実施機関 & 講師

合同会社ヤオヨロズテック

講師 仲村 健太氏



講師Profile

自動車メーカーにてITシステム開発プロジェクト等を経て2016年に独立。
IoT・AI・RPAなど先端技術の開発・導入支援を行い、リーダー層向けDX人材育成研修の実績も多数。
直近では生成AI活用支援、オンラインミニ講習も実施。

コースの狙い

DX (デジタルトランスフォーメーション) による企業変革の有効性を理解し、自社のDX推進に向けたポイントを習得します。

主な訓練内容

※ ノートパソコン、タブレット等を持参いただくと、デモをしながら一層効果的に学ぶことができます。

◎ DX概論

(1) DXと3つのステップ

「DXって何から始めればいいのか?」—その疑問に、3つのシンプルなステップで解説します。
今すぐ使えるITツール (RPAなど) や、今話題になっている業務に活用できる生成AIツールについても実際の画面を使って紹介します。
【演習】自社の課題および変革の必要性把握演習

(2) DXの推進を阻む課題と生成AI活用

「やりたいけど進まない...」その原因と突破口を具体的な事例とともに整理します。
話題の生成AI (ChatGPTなど) をDX推進にどう活かせるか、メリット・注意点を実際に触れながら体験してもらいます。
新しいアイデア出しや計画づくりの時短テクニックについて紹介します。
【演習】自社の状況からのDXの目的検討演習

◎ DX導入事例

(1) DXに成功した事例紹介

大がかりなシステム導入だけがDXではなく、スマートフォンの便利機能や生成AIなど、低コスト・低リスクで始められた成功事例を解説し、「うちの会社でもできそう!」と思える実践的なポイントを紹介します。

(2) 成功の要件 (戦略性、費用対効果)

成功企業に共通する「3つのポイント」をわかりやすく解説、「なぜうまくいったのか?」を読み解く力が身につきます。
【演習】事例から読み解く成功要件の整理

◎ DX戦略の導入

(1) DX推進体制の整備

DXは「システムの話」ではなく「組織の話」。経営層・管理者がどうリードし、現場とどう連携すれば社内の意識が変わるのか、体制づくりの勘どころを事例を交えて紹介します。

(2) 業務プロセスの再設計

まずは自社の業務を「見える化」するところからスタート。普段、当たり前に行っている仕事の流れを図にしてみると、改善のヒントが見えてきます。【演習】業務の流れ見える化と改善演習

(3) DXの具体的な取組領域の決定

「どこから手をつければいいのか」を明確にするフレームワークを解説します。
自社の強みを活かす領域と、他社と協力をする領域を整理し、優先順位をつけた具体的なアクションプランを考えます。
【演習】事例から読み解く課題とDXのポイント考察演習

(4) DXを推進するためのデジタル技術の概要

AI、IoT、クラウド...言葉は聞くけどピンとこない方も大丈夫。「この技術で何がかわるのか」を現場の視点からわかりやすく解説します。研修の最後には、自社のDX推進計画の骨子を作って持ち帰れます。【演習】ビジネスモデル変革演習

○ 訓練内容のココがポイント!

「うちには関係ない」が「うちでもできる!」に変わる研修です。
自社の状況や課題を洗い出すワークからスタートするので、一般論ではなく"自分ごと"としてDXを理解できます。
専門用語はできるだけ使わず難しい言葉はわかりやすい例えに置き換え、実際のツール画面を見ながら進めるので、IT知識に自信がない方でも安心して受講することができます。また、座学ではなく受講者同士の話し合いや手を動かすワークを多く用意し、「聞いて終わり」にならない現場で使えるアウトプットを目指します。
明日から使えるツール・サービスをその場でご紹介。低コストで導入できるITツールなど、研修後すぐに試せる情報をお持ち帰りいただけます。

お申し込みは

※ 当HP内「令和8年度オープンコース第1弾受講者募集のご案内」の下部に、Excel形式で直接必要事項が入力できる「オープンコース受講申込書」があります。